

JSMS (Vol. 14, No. 1 : 2022 年 9 月発行予定) の「特集」の原稿募集

IASM 会員各位

2021 年 11 月 24 日

コロナ禍も一服という状況ですが、皆様にはご清祥のことと存じます。

早速ですが、下記要領で原稿を募集致しますので、奮ってご投稿くださいますよう、お願い申し上げます。

編纂委員会 特集編集チーム

河合忠彦, 小林英幸, 小久保欣哉

記

(1) 特集テーマ : Multifaceted Analysis of Conditions for Survival and Growth of the Japanese Automakers in the CASE Age

趣旨

これまで IoT 時代、GAF A 時代の日本企業の存続戦略などの特集を組み、その中で、自動車メーカーが取り上げられたこともありましたが、今回は、特に自動車産業に焦点を当て、CASE 時代における自動車メーカーの存続/成長のための条件を戦略、生産、開発、販売、組織/人事、等の様々の視点から多面的に検討する特集を組むことと致しました。多くの皆様方の多様なアプローチからのご投稿をお願い致します。

ご投稿の採否の審査は特集編集チームを含む The Committee of the Special Topic Forum で審査を行い、採択された論文は「招待論文」として特集に掲載され、「同 Committee の査読をパスした論文」という注記がなされます。(これは、特集は通常の査読論文とは違って、萌芽的なテーマについての研究の呼びかけなどを目的とするものであり、通常の査読プロセスには馴染まない側面があるための規定です。)

但し、通常の「査読論文」として特集に掲載されるのをご希望の場合には JSMS の通常の査読手続きに従って査読され、採択された場合は「査読論文」として掲載されます。また、査読論文としてはパスしなかった場合、「招待論文」としての掲載をご希望であれば、同論文の審査手続きに従って審査されることになります。

なお、査読料を支払えば投稿可能になりました。投稿時に 4,000 円支払い、査読をパスして掲載された場合には残額の 5,000 円を追加して支払い、査読をパスしなかった場合は残額を支払わなくても良いという仕組みです。この方式で非会員の方への投稿勧誘もお願い致します。

(2) 原稿提出期限 : 2022 年 6 月 15 日

- (3) 論文原稿の提出先：editor (at) iasm.jp ((at) の場所に@を入れてください)
- (4) 注意：通常の投稿と同じですが、特に次の点に注意してください。
- 投稿原稿は JSMS の執筆要領（下記 URL）に準拠して作成してください。  
URL：[http://iasm.jp/english\\_activity5.html](http://iasm.jp/english_activity5.html)
  - 英語は必ずネイティブチェックを受けて下さい。
  - 投稿に関して不明点がございましたら、論文編集委員会（JSMS）委員（河合）宛てにご連絡をお願いいたします。メールアドレスは下記です。  
メールアドレス：mjkrota8 (at) vega.ocn.ne.jp ((at) の場所に@を入れてください)